

乳牛の改良から始まる

地域に根ざした私たちの取り組み

私たち動物科学研究部は、平成16年度より乳牛の改良を継続して取り組んでいます。校名が平成30年度より「吾妻中央高校」となり、部員数も3名から12名に増え、活動がさらに活発となりました。

共進会の参加に向けた活動では、放課後や休日を利用して、ウシの体を洗うことや本番を想定したリード練習などを行っています。大会前には農場に宿泊してウシを徹底して管理しています。その甲斐あって、10月に行われた県大会では、多くの乳牛が上位入賞を果たし、なかでも、ヒメル号が関東大会への出場を決めました。関東大会には、各都県の予選を勝ち抜いた約100頭が集結。私たちのこれまでの活動の成果が実り、ジュニアチャンピオン（未經産全体の1位）を獲得できました。

また、継続して改良してきた乳牛を地域酪農家へ普及する活動を、群馬県学校



出品前、入念な準備が欠かせません

農業クラブ連盟プロジェクト発表会（I類生産・流通・経営）で披露、最優秀賞を獲得。関東ブロック連盟の大会にも出場しました。関東ブロック突破の壁は厚く、優秀賞で終わってしまいました。1年生も参加したため、今後につながる実りある大会となりました。

今後は、乳牛の改良や地域酪農家へ普及する活動を充実させるとともに、6次産業化や担い手育成など地域に根ざした活動をしていきたいです。



群馬県畜産共進会（乳牛の部）

プロジェクト発表会に出場。私たちの活動を広く知ってもらう機会になりました



群馬県畜産共進会（乳牛の部）で上位入賞を果たしました！



関東ブロック連盟大会